

| | | | | | | | | | | | |
|-------|----------------|-------|-------|-----------|--------------------------|-------|------|-------|------|------|-----|
| 事業コード | 02030197 | 政策コード | 02 | 政策名 | 融合と成長の新農林水産ビジネス創出 | | | | | | |
| 事業名 | 大規模肉用牛肥育団地整備事業 | 施策コード | 03 | 施策名 | 需要創造力と訴求力を兼ね備えた産地づくり | | | | | | |
| | | 指標コード | 01 | 施策目標(指標)名 | 県オリジナル品種を主としたブランド品目の生産拡大 | | | | | | |
| 部局名 | 農林水産部 | 課室名 | 畜産振興課 | 班名 | 調整・畜政・経済班 | (tel) | 1806 | 担当課長名 | 土田正広 | 担当者名 | 篠田浩 |

評価対象事業(計画)の内容

事業年度 平成24年度 ~ 平成25年度

1. 事業立案の背景(施策目標の達成のために今なぜこの事業が必要なのか)
 本県畜産業の構造改革や意識改革を進めるためには、モデルとなる企業のセンスを持った大規模経営体の創出が必要のため、県では積極的に畜産法人の誘致を進めてきた。
 そうした中、北海道で大規模な肥育牛生産を行い、自社産牛肉を提供するレストラン等を経営している畜産法人に対して誘致活動を行った結果、仙北地域の農家とJAを軸に、大規模経営のノウハウや企業のセンスを加えた新たな法人を設立することとなった。
 県としては、肉用牛の生産拡大・構造改革の推進のみならず、畜産を核とした地域活性化のモデルケースとして、支援する必要がある。

2. 住民ニーズの状況
 ①ニーズを把握した対象
 受益者 一般県民 (時期: H24 年 07 月)
 ②ニーズの把握の方法
 アンケート調査 各種委員会及び審議会 ヒアリング インターネット
 その他の手法 (具体的に 事業実施主体及び関係機関による会議)

③ニーズの具体的内容
 大規模な肉用牛肥育経営の事業開始には、多額の初期投資を必要とし、収益の発生による資金回収までに長期間を要することから、施設整備及び資金確保に関する支援をお願いしたい。
 また、肥育牛生産の早期経営安定による一日も早いレストラン事業等への事業展開を実現するため、最短での事業実施へも協力して欲しい。

3. 事業目的(どういう状態にしたいのか)
 肉用牛の生産拡大によって、県産牛のブランド化の推進や繁殖経営の規模拡大が促進され、地域畜産が活性化する。
 モデル経営体の創出により、本県肉用牛生産において、大規模化等の生産構造の改革が図られる。
 (重点施策推進方針との関係) ● 重点事業として要望 ○ その他事業として要望

4. 目的達成のための方法
 ①事業の実施主体 株式会社 秋田仙北夢牧場
 ②事業の対象者・団体 株式会社 秋田仙北夢牧場
 ③達成のための手段
 施設整備等への助成による初期投資の負担軽減や、推進チームによる技術・経営などのフォローにより、本県肉用牛生産のモデルとなる企業のセンスを備えた大規模肉用牛肥育経営を育成し、早期の経営安定を図る。

④比較した代替手段及び選択した手段の有効性
 国庫補助事業である畜産公共事業の活用を検討したが、仙北市を含む地区が現在事業実施中であり、新たな内容を入れ込むことはできない。
 新たな地区設定には、計画策定等に複数年の準備期間を要するが、企業誘致の意味合いも持つ本取組の実現には、複数年の準備期間を設けることはできないため、畜産公共事業と同水準の支援内容で、県単独事業を創設した。

◎把握してない場合の理由及び今後の方針
 ①理由
 ②今後の方針

| 5. 事業の全体計画及び財源 | | 単位(千円) | | | | | | | |
|----------------|-------------|---------------------------|-------|---------|------|------|------|------|----------|
| 順位 | 事業内訳 | 左の説明 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 全体(最終)計画 |
| 01 | 施設設備整備等支援事業 | 施設整備に対する助成や事業推進に係るフォローの実施 | 6,800 | 153,391 | | | | | |
| 財源内訳 | | 左の説明 | 6,800 | 153,391 | | | | | |
| 国庫補助金 | | | | | | | | | |
| 県債 | | | | | | | | | |
| その他 | | 繰入金:農林漁業振興臨時対策基金繰入金 | 6,800 | 153,391 | | | | | |
| 一般財源 | | | 0 | 0 | | | | | |

6. 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

事業の期待される成果 肉用牛肥育経営の大規模化

| | | |
|-----|---------------------|----------------|
| 指標名 | 肉用牛肥育経営1戸当たりの飼養頭数 | 指標の種類 |
| 指標式 | 肉用肥育牛飼養頭数/肉用牛肥育経営戸数 | ●成果指標 ○業績指標 |

①年度別の目標値（見込まれる成果による指標）

| | | | | | | | | |
|-----|------|------|----------------------|------|------|------|------|------|
| 指標 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 最終年度 |
| 目標a | | 39 | 39 | 40 | 41 | 42 | 43 | 44.0 |
| 実績b | 32.9 | 38.8 | ②データ等の出典 | | | | | |
| 東北 | 55.5 | 55.9 | 畜産統計（農林水産省、各年2月1日現在） | | | | | |
| 全国 | 113 | 119 | | | | | | |

③把握する時期 ○当該年度中 月 ●翌年度 08月 ○翌々年度 月

指標II

| | | | | | | | | |
|------------------------|------|----------------|----------|------|------|------|------|------|
| 指標名 | | 指標の種類 | | | | | | |
| 指標式 | | ○成果指標 ○業績指標 | | | | | | |
| ①年度別の目標値（見込まれる成果による指標） | | | | | | | | |
| 指標 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 最終年度 |
| 目標a | | | | | | | | |
| 実績b | | | ②データ等の出典 | | | | | |
| 東北 | | | | | | | | |
| 全国 | | | | | | | | |

③把握する時期 ○当該年度中 月 ○翌年度 月 ○翌々年度 月

◎指標を設定することができない場合の効果の把握方法

①指標を設定することが出来ない理由

②見込まれる効果及び具体的な把握方法（データの出典含む）

事業の必要性

現状の課題及び施策目的に照らした事業の必要性
 小規模零細な経営が大宗を占める本県の肉用牛生産の構造改革を進めるためには、モデルとなる企業的センスを持った大規模経営体の育成と活用が必要であり、その実現のためには、本事業による県外畜産法人の取り込みが不可欠である。

住民ニーズに照らした事業の必要性
 事業主体を構成する県外畜産法人からは、助成による初期投資の負担軽減や最短での事業実施が参画の条件として提示されているため、本事業の実施は不可欠である。

事業の県関与の必要性
 法令・条例上の義務 内部管理事務 県でなければ実施できないもの
 民間・市町村で実施可能であるが、県が関与する必要性が認められるもの

県全体の肉用牛生産構造の改革や県産牛のブランド化の推進などを目的とした事業であるため、県が実施する必要性が高い。

政策評価委員会意見

重点事業の適合及び指標・目標値の適合性判定

○重点事業 ○その他